



片柳中学校だより

片柳

第8号 令和7年10月31日発行
さいたま市立片柳中学校
さいたま市見沼区大字御蔵551
TEL048-683-3173

<学校教育目標> 夢をはぐくむ学校 ○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○心身を鍛える生徒

言葉がつなぐ心の絆 挑戦を支える力となるもの

校長 佐久間 貴宏

季節は11月を迎え、秋の深まりとともに、朝夕の冷え込みに冬の気配を感じるようになりました。片柳中学校の生徒たちは、日々の学校生活の中で様々な場面において努力を重ね、輝かしい活躍を見せてくれています。

先日行われた市内駅伝大会では、当日の力走はもちろんのこと、そこに至るまでの約3ヵ月間にわたる練習の積み重ねがありました。夏休み前から駅伝チームを組織し、炎天下の中でも懸命に走り込みを行い、2学期に入ってからほぼ毎日のように朝練習に取り組んできました。その地道な努力は、結果以上に、生徒一人ひとりの心に深く刻まれる貴重な経験となったことでしょう。

大会当日の会場には、熱気と緊張感が満ちており、他校の生徒が懸命に走る姿に生徒たちは大きな刺激を受けていました。大会で力走したメンバーの頑張りはもちろん称賛に値しますが、チームを支えるために走り回るサポートメンバーの姿にも感動を覚えました。さらに、男女の垣根を越え、「チーム片柳」一丸となって応援する姿は、まさに本校の誇りでした。

また、新人体育大会においても、各部活動がこれまでに積み重ねた努力の成果をそれぞれの舞台上で発揮し、多くの部活動において貴重な勝利を収めることができました。各会場を巡回し、観戦をしていたのですが、真剣に取り組む生徒たちの姿に、強い感動を覚えました。県大会へと駒を進めた部活動の皆さんには、さらなる努力を重ね、次のステージでも堂々と活躍することを期待しています。

これらの大会を通して、先生と生徒、生徒同士が互いに声を掛け合う姿が多く見られました。競技の場面では、叱咤激励の言葉が飛び交うこともあれば、温かく健闘を称える声もありました。勝利を目指す中で、仲間を奮い立たせる言葉の力は、技術以上に人の心を動かすものです。スポーツの場面に限らず、日常の中で交わされる言葉の一つひとつが、心の交流を生み出し、信頼関係を築いていくのです。

さいたま市では、「おはようございます」「はい」「ありがとうございます」「ごめんなさい」の4つの言葉を“心を潤す言葉”として掲げ、全市立学校で推進しています。これらの言葉を自然に使うことができる人物は、周囲とのより良い人間関係を築くことができることでしょう。家族や友人だけでなく、地域の方々との関わりの中でも、心を込めた言葉を交わすことで、温かい絆が生まれます。

本校の生徒たちは、日々の活動の中で、仲間と支え合い、励まし合いながら成長しています。その姿は、私たち大人にとっても学びの多いものです。これからも、片柳中学校が「心の通い合う学校」として地域に根ざし、生徒一人ひとりが輝ける場であり続けることを願っています。地域の皆様も、ぜひ、この機会に『心を潤す4つの言葉』を覚えていただき、普段の生活の中でも意識的に使ってみてはいかがでしょうか。

